

平成30年3月

伊東市議会 3月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

1 青 木 敬 博 君

3月2日(金) 午前10時～午前10時50分

2 四 宮 和 彦 君

3月2日(金) 午前11時～午前11時50分

3 犬 飼 こ の り 君

3月2日(金) 午後1時～午後1時50分

4 佐 藤 龍 彦 君

3月2日(金) 午後2時～午後2時50分

5 杉 本 一 彦 君

3月2日(金) 午後3時～午後3時50分

6 重 岡 秀 子 君

3月6日(火) 午前10時～午前10時50分

7 稲 葉 正 仁 君

3月6日(火) 午前11時～午前11時50分

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 青 木 敬 博

1 本市の労働力不足が顕著になっていると考えることから、以下2点伺う。

(1) シニア世代に積極的な就労への働きかけが必要と考えるがいかがか。

(2) まち・ひと・しごと創生事業における地方大学・地域産業創生事業等の地方創生インターンシップ推進の取り組みについては、本市でも地域の実情に合わせた取り組みをしていくことが必要であると考えているが、いかがか。

2 観光施策について、以下3点伺う。

(1) 観光戦略の立案において、観光予報プラットフォーム推進協議会が運営する「観光予報プラットフォーム」を利用することを提案するが、いかがか。

(2) RESAS（地域経済分析システム）と「伊東温泉観光客実態調査報告書」における調査結果に相違があることについて、検証する必要があると思うが、いかがか。

(3) 観光客が利用しやすくするために、伊東駅前の伊東観光協会のビルにある横断幕を「ようこそ伊東温泉へ」から「観光案内所はこちら」に変更してはいかがか。

3 按針祭海の花火大会において、体の不自由な方が観覧できるスペースを市役所8階に設けることを提案するが、いかがか。

4 子供の貧困が広がっている現状を踏まえ、以下2点伺う。

(1) 就学援助を受けている要保護児童生徒等の認定状況及び今年度から実施している入学準備費の早期支給の状況について伺う。

(2) P T Aや学校と連携して卒業生の不要になった制服を集め、経済的に厳しい家庭で入学時や買い換えが必要になった際に使用できる仕組みの構築を提案するが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

本市の行政事務における行政手続の正当性に関連し、以下2点伺う。

1 地方自治体における法務のあり方に関し、以下3点伺う。

(1) 法務を行う上で、どのように取り組んでいるのか伺う。

(2) 政策法務の重要性について、どのように考えているのか伺う。

(3) 職員に対する政策法務研修の実施状況を伺う。

2 行政手続における法令遵守に関連し、以下3点伺う。

(1) 行政手続法第5条の規定に基づく審査基準をどのように策定しているのか伺う。

(2) 行政手続を行う上で、法令遵守体制をどのように確保しているのか伺う。

(3) 八幡野地区における伊豆高原メガソーラーパーク建設計画に係る行政手続上の疑義に関し、以下2点伺う。

ア 市長は、宅地造成等規制法に基づく申請が、同法の基準を満たすものであれば許可を出さないことは許されないとの旨の見解を述べているが、その解釈及び許可権限の行使の正当性について、根拠を伺う。

イ 伊東市景観条例施行規則第5条の規定に基づき、「景観計画区域内行為における行為の届出」に添付する図書のうち、「その他市長が必要と認める書類」の提出を求めたとのことであるが、当該書類については、どのように審査を行ったのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 犬 飼 このり

- 1 市民から愛される魅力的なまちであることが、移住定住の促進及び来遊客増加につながると考えることから、本市の魅力とはどのようなところであるか、市長の考えを伺う。

- 2 太陽光発電施設への対応について、以下2点伺う。
 - (1) 本市以外にも伊豆には太陽光発電施設が多く設置されており、豊かな自然環境や自然景観など観光資源が損なわれることは、近隣市町にも影響を及ぼすと考えことから、県東部最大となる八幡野地区におけるメガソーラー建設計画に対する宅地造成等規制法に基づく許可に際し、他市町との情報共有等、連携状況を伺うとともに、現地での綿密な調査を行っているか伺う。

 - (2) 既に建設された太陽光発電施設について、景観維持や災害防止等の観点から、宅地造成等規制法に基づき許可を行った後も、現地調査等の関与を続けているか伺う。

- 3 市庁舎の活用について、以下2点伺う。
 - (1) 西側玄関のロータリーには、使用されていない噴水があるが、噴水の利活用について、今後の方針を伺う。

 - (2) 市庁舎内及び隣接する物見塚公園に、伊東祐親像を含めアート作品が多数展示されていることから、来庁者が楽しめるよう説明やマップの記載されたパンフレット等の制作をするとよいと考えるが、いかがか。

- 4 伊東市民病院において、平成30年1月4日から一部の診療科を除き、初診時の紹介制・紹介予約制が導入されたが、市民から知らなかったなどの声が多く聞かれたことから、情報が広く浸透していなかったと思われるが、周知の方法について伺う。

- 5 災害時の救助等を目的として災害情報を収集するために整備したドローンについて、安全な飛行を確保し、適正な運用を図るため、航空法等関係法令の遵守のもと冷静かつ優れた操作技術が必要であると考えことから、どのように訓練を行っているか伺うとともに、実務として操作できる職員数を伺う。
- 6 海沿いの湯川終末処理場の屋上にあるしおさいひろばは、眺望もアクセスもよく、また道路に面していないため危険が少なく、愛犬と一緒に訪れる利用者が多いが、市内外の利用者からドッグランの設置を望む声を耳にすることから、今後、設置を検討してはいかがか、考えを伺う。
- 7 中学校の就学に要する費用について、以下2点伺う。
- (1) 中学校の入学に際し、制服や各種学校指定用品等を準備するために、どの程度の費用を要すると把握しているか伺う。
 - (2) 保護者の経済的負担を軽減するため、卒業生が不要となった制服などをリユースする仕組みを構築できないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

1 小規模企業振興基本法に沿って、県が平成28年12月に静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例を制定し、地域経済を下支えしてきた中小零細企業の振興を図っていることに対する本市の考えについて、以下3点伺う。

(1) 本条例により、中小企業だけでなく、小規模企業にも視点を置いた振興策を打ち出していることについて、どのように考えるか伺う。

(2) 本市における経済振興・地域振興を図るためには、中小零細企業や個人事業主の声を聞く必要があると考えるが、いかがか。

(3) 県内において同様の中小企業振興基本条例を制定している市もあり、本市においても経済振興・地域振興を図るために条例制定の必要性があると考えますが、いかがか。

2 地域において、子供たちに無償で学習支援している市民団体や行政区に対し、市として支援すべきと考えることから、以下2点伺う。

(1) 魅力あるまちづくり事業の対象を拡充する考えはないか伺う。

(2) 人材確保が困難な状況があることから、教員OBなどの人脈を活用し、声かけをしていくなど人材面での支援をする考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 本市で計画されている自然破壊を伴うメガソーラー建設の問題に関し、以下4点伺う。
 - (1) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所（仮称）の建設計画について、市長はこれまで事業者に対し白紙撤回を求めてきたが、結果的に宅地造成等規制法に基づく許可に至った経緯及び理由を伺う。
 - (2) 市長は昨年の市長選挙の際にも当該建設計画を阻止する旨の発言をしてきた経過がある中で、今後どのように対処していくのか、考えを伺う。
 - (3) 市内では、伊豆高原メガソーラーパーク発電所（仮称）のほかにも大規模な森林伐採を伴うメガソーラーの建設が複数箇所で計画されているが、市が把握している建設計画について、現在の状況及び今後の見通しを伺う。
 - (4) 今後も市内でメガソーラーの建設に係る開発が進められた場合、国際観光温泉文化都市としての根幹を揺るがすことになると思うが、これらメガソーラーの建設に対する市長の見解を伺うとともに、建設をめぐる問題に対する今後の対応策を伺う。
- 2 広く市民からの意見や提言に耳を傾け、市民の声を的確に把握するとともに、これを市政に反映させていくことは、開かれた市政の推進を図る観点からも、重要であると考えことから、以下2点伺う。
 - (1) 市民の声をどのように把握し、どのように市政に反映しているか伺う。
 - (2) 行政運営における公正性の確保と透明性の向上を図るため、政策決定に当たり、利害関係を有する者とのかかわり方については慎重であるべきと考えるが、見解を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 特別顧問職が設置されて9カ月が経過するが、特別顧問の市政へのかかわり方に関し、以下3点伺う。
 - (1) 具体的にどのような業務に対して助言等がされたのか伺う。
 - (2) 旅費や日当など、どのように費用弁償がされているのか伺う。
 - (3) 特別顧問に期待する役割として、東南アジア圏へのトップセールスによる誘客宣伝などが挙げられていたが、今後の予定を伺う。

- 2 八幡野地区におけるメガソーラー建設計画については、宅地造成等規制法に基づく許可がされたが、山の形状や土質から難工事になるという見解もあり、市民の不安は未だ拭えない現状があることを踏まえ、今後の太陽光発電施設建設計画に係る市の対応等について、以下3点伺う。
 - (1) 八幡野地区におけるメガソーラー建設計画に係る工事を原因として発生が懸念される問題に関し、協定を締結すべきと考えるが、以下3点伺う。
 - ア 八幡野港へ土砂が流出した場合の漁業補償に関する協定について
 - イ 八幡野川の氾濫や崖崩れなどの災害の補償に関する協定について
 - ウ 事業終了後のパネル撤去、跡地対策などに関する協定について
 - (2) これら協定が締結されない場合には、当該工事を開始させないことも検討すべきと考えるが、見解を伺う。
 - (3) 市内各地で計画されている太陽光発電施設を含め、太陽光発電事業に対する市長の見解を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 稲 葉 正 仁

1 市内経済の活性化を図る観点から、農林水産省が進める農泊推進事業に関連し、以下3点伺う。

(1) 農泊の推進に対する本市の取り組み状況を伺う。

(2) 農泊を推進する上で、農林漁業者や宿泊施設の事業者、また、その他の関連事業者に対し、どのようにかかわっているか伺う。

(3) 農泊の推進に対する市長の見解を伺う。